

### 第82回三多摩メーデー

**日時** 5月1日(日)  
**時間** 10時式典開始  
**場所** 井の頭公園西園

# けんせつ

## 清瀬久留米

発行所  
 東京土建一般労働組合  
 清瀬久留米支部機関紙

〒203-0054 東久留米市中央町5-10-17  
 TEL 042-473-8751 FAX 042-473-8753  
<http://www.tokyodoken.info/>

発行者 鈴木 勝雄  
 編集者 角 毅 征

第43回

## 支部定期大会

### 要求実現に向けて団結しよう

3月11日に起こった東日本大地震は東北関東に甚大かつ壊滅的被害を与え、加えて福島原発事故は収拾の目途も立たず深刻な事態が続いております。そのようなかで、第43回支部定期大会は開催となりました。会場は電力供給不足の懸念から暖房が無く寒いと言っている人がおりました。2年ぶりの分科会は質疑応答で白熱した議論が交わされ、最後になりましたが震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈り致します。今こそ英知と勇気を結集して厳しい情勢を乗り越えて行きましょう。

米両市より来賓の方々に来青空分会 時任 和幸



上：要求実現に向けてガンバロー  
 下：革新都政をつくる会の小池あきら氏のあいさつに会場から大きな声援

- 本部表彰者 (敬称略)**  
 壇田 恒輔 (清里) 北島 晃 (三葉)
- 支部表彰者 (敬称略)**  
**組合員功労者**  
 (元塩) 小林 宣雄  
 (松竹) 鳥山せつ子  
 (清里) 今井 禮吉  
 (滝山) 石井 光男  
 (三葉) 森永 義彦  
 (北浅) 岡野 政一  
 (南町) 小和瀬光雄  
 (青空) 齊藤孝三郎
- 主婦功労者**  
 横山たか子  
 肥後八重子  
 沢田美智恵  
 笠井 廣子  
 中原 清子  
 福 久代  
 小坂 悦子  
 村岡千津子
- 本部機関紙コンクール記事表彰者**  
 (滝山) 山岸 良春

### 2011年度新役員

- 委員長** 石垣 雅之 (元塩)
- 副委員長** 小田澤陽一 (松竹)
- 書記長** 鈴木 勝雄 (清里)
- 書記次長** 伊藤 正 (書記)
- 常任執行委員** 古名 孝二 (清里)
- 常任執行委員待遇** 山岸 妙子 (滝山)
- 会計監査** 島田 久雄 (元塩)
- 執行委員** 樋口 征之 (滝山)
- 執行委員待遇** 小林 博征 (元塩)
- 執行委員待遇** 宇田川治男 (南町シニア)

## 春の拡大真つ最中

支部組織現勢の維持・実増を定期大会で提案しましたが、春一番拡大をやり残したまま春の拡大月間の目標だけをやりきっても、この3年間の組織後退に終止符を打つことはできません。困難な状況は続きますが、ここで踏ん張り再び増勢へ転換していくために、年間目標達成に向けて取り組みましょう。

どんな組織にとっても、新しい仲間を迎え入れることは存在の絶対条件です。この3年間、建設不況の嵐が吹き荒れる中でやむを得ず土建をやめてしまった仲間が数多くいます。仲間の増えが数多くあります。仲間の増えが数多くあります。仲間の増えが数多くあります。

生活防衛である仕事確保や賃上げ要求運動、他の健康保険に對し大きな補償で優位性を確保してきた土建に保を守り抜く運動など、いずれの課題でも組織の後退に歯止めをかけ増勢に転じるための拡大運動が重要なカギをにぎっています。あらためて拡大の重要性を分るために、訪問対象者を明確にし、訪問結果をそこに書き込みます。訪問対象者カードに書き込みます。訪問対象者カードに書き込みます。

この群の参加表を作るなど、群単位を意識して拡大行動に取り組みましょう。

	年間目標数	春一番残数	春拡大目標数	目標残数
元塩	18	2	5	11
松竹	9	1	3	5
清里	20	3	6	11
滝山	22	3	6	13
三葉	31	4	9	16
北浅	20	3	6	11
南町	9	1	3	5
青空	18	4	5	9
事業所	52	3	14	35
直属	34	2	6	26

## 労災年度更新

事業所労災は4月19日(火)、27日(水)、28日(木)です。19日、28日は夜間も受付します。

**時間：**  
 午前の部10:00~11:30  
 午後の部13:30~16:00  
 夜間の部19:30~21:00

### 事業所労災更新の持ち物

- ・会社の横判 (ゴム印)
- ・元請工事総売上 (H21.4~H22.3分)
- ・代表者印

※電話での受付は致しません  
 必ず来所にての更新となります  
 ※総合賠償をにかけている方は下請けの売上もご用意下さい  
 ※雇用保険をにかけている事業所は、H21.4~H22.3月の賃金台帳を、雇用保険をにかけている方全員分をご持参下さい

# 未曾有の被害が広がり続ける

## 東日本大震災

2011年3月11日東北地方太平洋沖で、国内観測史上最大のマグニチュード9.0を記録する大地震が発生しました。

この度の地震により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

地震、津波、そして原発による未曾有の被害が出続ける中、東京土建の組合員さんの中でも、被災地に救援に行かれていらっしゃる方がいます。

東京土建としては、現地の復興支援なども担っているとは思いますが、まずは義援金や物資を送ることを決定しました。

義援金としましては、お一人様1000円以上の募金を位置づけております。

この義援金は、物資や人材派遣、復興に対して使用することとなります。

皆様不況の中、厳しいとは思いますが、被災地の方々のためにご協力をお願いします。

東京土建として一人1000円以上を目安とした募金とともに、救援物資は建設現場で使用する道具類を中心調達し、集約して救援物資とすることとなりました。

上の表の救援物資リストのものを各支部にて集め、本部、被災県連・組合を通して被災地にお送りします。

新品・中古は問いませんが、使用可能なもの・中古品に関しては現場で使うプロ仕様のものに限らせてもらいます。

ご協力お願い致します。

### 救援物資リスト

電動ドリル (インパクト・充電式)
電動小型丸のこ
釘袋
差し金 (長手500m)
メジャースケール
かなづち (大)
かなづち (小)
電源用コードリール
バール (900~1000mm)
のこぎり (両刃)
釘締め
ヘルメット
ブルーシート
土嚢袋

### 今私たちに出来ることをやる

三月十一日に起きた「東日本大震災」は、未曾有の規模の被害をもたらしました。尊い命を奪い、たくさんの哀しみを今日も広がっています。

被災者の皆さんが、子どもや親を失い、寒さの中で

つらい気持ちをこらえて、懸命に生きようとしている姿に、誰もが涙し、手を貸したい、何とかしてあげたい、という衝動に駆られます。支部組合として何かできることはないでしょうか。

教宣部長 鈴木勝雄

### 分会、そして組合組織の後継者問題

未だ出口の見えない不況や就業実態調査などの影響から、分会組織人数が減少し続けています。また新しい役員も進んでいません。前者には拡大という対応策がありますが後者はこれといった具体的な方策が見えていません。昨年

後継者ボーリング大会も終わり、ひとつのアイテムが消えてしまいました。それは、なにをすべきかを真剣に考え直す契機でもありません。前者には拡大という対応策がありますが後者はこれといった具体的な方策が見えていません。昨年

3月11日 われました。

(金) 東村山 清瀬東久留米支部からは中央公民館 76名(組合員74名、書記2名)の参加があり、会場に決起集会が行

各団体の呼びかけや訴えの中で、やはり「仕事が減り生活が苦しい」という切実な訴えがありました。

次に、日本共産党都政対策委員や三多摩国民春闘協議会、年金者組合と続き

菅政権は今年1月に、福祉を充実させることを目的に、消費税を増税することを明言しました。過去の増税の時も政権党は同じことを明言しましたが、大

企業の見えていません。昨年

で後継者ボーリング大会も終わり、ひとつのアイテムが消えてしまいました。それは、なにをすべきかを真剣に考え直す契機でもありません。前者には拡大という対応策がありますが後者はこれといった具体的な方策が見えていません。昨年

役員で何度も議論を重ねましたが、明確な答えはでませんでした。方向性だけ

企業は税金を減税するばかりで、まったく国民の生活は良くなりませんでした。今回の増税も真意は明らかで、消費税を5%引き上げて10パーセントにし、大企業や大資本家の減税を行う穴埋めになってしまっただけです。

消費税が上がれば、大企業に貢献のお金が増えるだけです。

菅政権の言う『消費税は社会保障のため』というのは、今までの政治の流れから見ても、あり得ないことだというのが明らかです。

私たちが求めるものは、納税者の権利を守り、増税は許さないことです。

決起集会後、参加者たちは「憲法改悪は許さないぞ！」「国民負担増の医療保険一元化反対！」「消費税増税は許さないぞ！」と声高くシュプレヒコールを行いました。中央公民館より税務署までデモ行進を行いました。

青空分会 笹下美津子

## 大企業に貢ぐ増税反対!!



決起集会が行

各団体の呼びかけや訴えの中で、やはり「仕事が減り生活が苦しい」という切実な訴えがありました。

次に、日本共産党都政対策委員や三多摩国民春闘協議会、年金者組合と続き

菅政権は今年1月に、福祉を充実させることを目的に、消費税を増税することを明言しました。過去の増税の時も政権党は同じことを明言しましたが、大

「おもいで」

戦争が終わって十五年(一九六〇年)、日本はもはや戦後ではない、今後は経済、社会、文化が確実に発展するといわれ、事実その通りになりました。

一方、私の場合強い逆風にさらされ苦境の時期でした。心に決めた人との結婚話を封印し、住みなれた土地を離れて新たな仕事、人生を求めなくてはなりません。

私は東京のタイル工事会社に手紙を送りました。この会社の社長と専務が私と同郷出身だったからです。会社からは、すぐ上京して良いとの返事でした。しかし東京までの交通費(汽車賃)が



### 思い出

### 私の半世紀

足りません。友人、知人より借金しましたが、それでもまだ不足でした。致し方なく静岡のみかん農家で約一か月働き、得たお金で東京につきました。目的の会社はタイル工事をしますが、新人や弟子を養成する所ではありません。タイル職人になるには、親方の所で修行する必要があります。私は、西武線権名町のタイル店に入りました。仕事の厳しさは省略しますが、当時大工の賃金が一日八百円でしたが、私の小遣いは一日百円。一箱四十円のたばこ(しんせい)を買って残り六十円、少しでも小遣いを稼ぐために西武線には乗らず、山手線白駅まで歩きました。道具箱を担いで歩いていると交番で呼び止められ、家出人か悪者と思われるので中身を調べられたことが何回もありました。

滝山分会 寺園静雄

### 統一地方選挙 市議選投票日

4月24日(日)

価値ある一票を無駄にしないよう投票に行きましょう